

各区地域部会から運営事務局会議への報告・検討事項

【中央区地域部会】

- 8050の課題について、早期に掘り起こしが必要なことを、皆さんに理解して欲しい。家族全体と生活史を考えながら、問題をご理解いただけるよう、普及啓発に向けて動く必要性を感じている。
- 65歳問題について中央区のあんしん、基幹相談、行政で1年かけて対応方法について検討をしていく方向。
- 袖ヶ浦福祉センターから退所される方への対応を検討するプロジェクトチーム作り、事業所の参入を促せるよう研修を行う予定（2月）。
- 人工呼吸器を装着されている方への個別防災計画を立てる方向。
- 特別支援学校向けの、卒後の進路に対する困りごとアンケートと、医療的ケアについての事業所向けアンケートを行い、結果を共有したい。
- 医療的ケアのフォローアップ研修と、新しく参入してもらえそうな事業所向けの支援を3月に行う。

【稲毛区地域部会】

- 卒業時に支援につながっていない方については、基幹相談支援センターで対応するという意見を、運営事務局会議で確認する。

【若葉区地域部会】

拠点に関する質問…事前登録

- 拠点の事前登録の対象になるものなのか？
第二子の出産などで、上の子どもの世話が出来ない時、というのは事前に拠点に登録することは可能なのでしょうか。

相談の仕組みについて

- 相談支援が、必要な人に届くような仕組みの検討が必要ではないか？
サービス利用はしてないけれど受給者証だけ更新している方もいる。
今後、計画相談で相談員不足でセルフプランにせざるを得ない方が増えることが予測される。
サービス利用しないのであれば計画を外すなど、相談員を効率的に振り分ける仕組みを考えられないか。
また、セルフプランの対象となる方の目安もあとわかりやすい。
- 他にも児童の保護者に相談支援がついていると支援しやすいと感じることがある。
- 障害者本人が40代、50代になってから困難ケースとして扱われるケースがある。地域の目で障害児の頃からサポートしていけばサービスにも繋がりが、困難化する前に対応ができるのではないか。
同様に本人の一貫した記録（育成会の親心の記録など）があることで災害時の本人へのサポートに繋がる。その存在を広めて行ってもらいたい。